

平成22年度高校生「愛とこころの交流体験」実践概要

1 実践のねらい

- (1) 乳幼児や高齢者との交流を通して、異世代と触れ合うことの楽しさを実感し、コミュニケーション能力を高め、自己発見につなげる。
- (2) 地域の人々と触れ合う活動を通して、人とのかかわり方を学び、自分の生活する地域の清掃活動を行うことで、進んで社会に貢献する態度を養い、地域に対する愛情を育む。

2 実践の内容

(1) 地域から学ぶ交流体験

ア 老人保健施設あすか訪問

日 時 10月21日(木) 10月22日(金) 13:45~14:45

参加者 1年3組・39名 1年4組・40名

活動内容 あいさつ、文字合わせゲーム、名前ビンゴゲーム・校歌紹介

感想 ・初めて、老人保健施設に行きました。最初はどのように接して良いのか分からず戸惑ったけれど、皆さんが明るく接してくださったので楽しかったです。時間が早く過ぎました。
・職員の方々は、スピード、声の大きさなどお年寄りの方に合わせて調節していた。



文字合わせゲーム



校歌紹介

イ 西条市立丹原保育所訪問

日 時 10月18日(月) 10月19日(火) 10:10~11:00

参加者 1年1組・40名 1年2組・41名

活動内容 あいさつ、遊具での交流・折り紙や絵本の読み聞かせ

感想 ・はじめは緊張したが、一緒に遊んでいるうちにすぐに仲良くなることができた。
・自分子どもと触れ合うのが楽しいと感じ、保育士になりたい思いがさらに強くなりました。将来の夢の実現に向けてがんばりたいです。
・「明日もまた来てね。」と言われたのがうれしかった。



2歳児と散歩



お祭りごっこ

(2) 地域に貢献する交流体験

地区別奉仕活動

日 時 7月5日(月) 13:30~14:30

参加者 全校生徒

活動内容 全校生徒が地区別に分かれて地域の人と一緒に地区内の寺社、公民館など公共施設の清掃活動を行った。

感想 ・みんなが汗を流しながら地域のために何かすることは素晴らしいことだと思った。地域の方にお礼を言われたのが嬉しかった。
・自分達が住み、日頃お世話になっている地域をみんなが意欲的に清掃したので恩返しができるみたいで気持ちよかった。



神社の清掃 1



神社の清掃 2

3 成果と課題

地域から学ぶ交流体験では、多くの生徒は実施前に緊張や不安を感じていたが、地域の子どもやお年寄り、職員の方々に好意的に接していただけたおかげで、ほとんどの生徒が事後のアンケートでは「楽しかった。また行きたい。」と答えていた。また、施設の職員の方々の働く様子を見学し交流を深めることは、介護関係や保育士を目指している生徒にとって自分の進路に目標を持ち、しっかりとした職業観を身につける良い機会になったことはもちろん、すべての生徒にとって、社会と自分の関わりについて考え、将来に向けての在り方生き方について考える良い機会になったと思う。地域から学ぶ交流体験は1年次に1回だけの実施であるが、休日や長期休業中のボランティア活動などへの自主的参加、主体的活動につながる活動となるように工夫していきたい。

また、地域に貢献する交流体験では、地域の方々との清掃活動により地域に貢献できることで地域に愛着を感じ、実際に感謝の声を聞くことで自尊感情を高めることにつながった。この活動も地域から学ぶ交流体験と同じように学校での特別な活動ではなく、自主的な地域交流のきっかけとなるよう工夫していくことが今後の課題である。